

平成18年(2006年)3月20日発行



2007年の学園創立100周年まで、あと1年余。本学園では、年史の作成や百年記念館の建設など、学内外の方々の協力をいただき、さまざまな記念事業を推進している。左は、無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした、100周年記念シンボルマーク。



学位取得おめでとう 卒業生へ贈ることば



学長 柳澤 章

ご卒業おめでとう。
社会に出て活躍しようと大学を巣立って行く諸君。皆さんは日本工業大学で磨いてきたエンジニアとしての腕、あるいは感性を携えて、様々なフィールドに果敢に挑戦をしていくことでしよう。私たちはそれを大いに期待し、楽しみにしていますし、

誇りとするものです。
エンジニアが身につけている技術とは何か。それは、問題を見抜く洞察力であり、解決に導く手立てであり、また創造につながる感性であるといつていいのかもしれない。

こうした洞察力、手立て、感性は、工学理論を知識として覚



理事長 大川陽康

ここに無事卒業を終えて、それぞれの学位を取得された学部ならびに大学院の諸君、まことにおめでとうございませう。今冬は、このほか寒さが厳しく、それだけに花々が暮らしの周辺を彩るこの季節が、いつになく心温かく感じられます。

吹とは異なり、我々を取り巻く社会状況は、年頭から昨今の人間のあり方・生き方という問題に関して、根底から再考を迫るような現象にさらされました。その象徴的な出来事は、ネット社会の空気を悪用して株の取引をほしむままにした、あの「ライブドア事件」ですが、それ

自分の専門を狭めることなく、果敢に挑戦しよう

伸びだけでは我ものとするのが難しいと思います。実際にモノを目の前にして、触れて、あてもない、こうでもない、ああでもない、という状況に陥り、それを繰り返して、目指すゴールへの糸口が見えてくるものなのです。それはまさに、日本工業大学で繰り返して行ってきた

伸びだけでは我ものとするのが難しいと思います。実際にモノを目の前にして、触れて、あてもない、こうでもない、ああでもない、という状況に陥り、それを繰り返して、目指すゴールへの糸口が見えてくるものなのです。それはまさに、日本工業大学で繰り返して行ってきた

最初は、延長上にあるものです。自信を持って、果敢にチャレンジしてほしいと思います。さて、諸君が身につけた洞察力、手立て、感性を駆使しようとしているフィールドでは、諸君の目の前にいろいろな難題や創造の種が現われて来るのだらうと思えます。それを、手を

伸ばしてつかむか、タックルをしかけてしがみつか、それとも、見送るか、気づかないふりをするか、人によって、あるいは状況によってさまざまでしょう。エンジニアとして、諸君に願うのは、目の前に現われた物事に對して、「これは自分の専門分野ではないから関係ない」と、

自己鍛錬・自己修養のすすめ

は単にホリエモンという一人物の起こした事件という枠組みを超えて、一体、あるべきネット社会の形とは何か?あるいは真の社会システムとは、果たしてどのような態様のものなのかを、きびしく問い質しているように、私には思われます。

多くの者が、その意味合いを理解しているかとなると、いささか疑問を感じざるを得ません。大学で高い知識を得たからと言って、それは事の半面に過ぎず、もう半面に求められる人間的なモラルとが相まって社会的に有用な人材たりうることを、忘れてはならないのです。

の主たる役割の一つは、各専門領域における高度な知識と人間的な品格を兼ね備えた人材を養成することであり、本学に於いても物事を論理的に究める諸科学分野に併行、教養科目を通じて深い人間性を養う倫理分野の修得も課しております。

昨今のサイバー世界は、何でもありという様相を呈しています。しからば、このような歪みの礎を強めつつある社会に、どう対処してゆけばよいか。私はやはり強い倫理観にもとづく絶えざるセルフディシプリン(selldiscipline)つまり「自己鍛錬」ないしは「自己修養」というも

のが肝要ではないか、と思うのであります。諸君もときおり目にしたと存じますが、NHKに『プロジェクトX』なる、番組がありました。その番組にふれて第一に感じた点は、高い業績や社会的意義ある事どもを成し遂げられた方々は、総じて地道に仕事に向き合ってきたこと。第二に、逆境にあっても自分の夢や与えられた目標に向かって、額に汗して努力しつづける姿でした。したがって、ここに並み居る諸君も、どうかそのような面に留意され、論理と倫理に裏打ちされた真のエンジニア魂を元手に、待ち受ける実社会で活躍されることを願ってやみません。

来年、本学は創立一〇〇周年を迎えます。その伝統を次代へと継承して行くために、どうか今後、皆さんの力強いお力添えをお願い申し上げます。最後に諸君のご健闘を心から祈っております。

3月1日、平成17年度春の修了式が学友会館ホールで行われた。修了者は、中国20名、台湾1名、バングラデシュ5名、ネパール1名、ベトナム1名の計28名である。

今後の進路は、本学学部へ14名、本学専門職大学院を期待している。

この19名のカレッジマイスターたちには、これまでの「機械工学科カレッジマイスターコース」(平成11年度に開設)による認定者6名の卒業生とともに、益々の精進と今後の活躍が期待されている。

なお、称号認定者には学位記授与式において認定証とメダルが授与される。本年度から全学的に工務教育プログラムが整備・構築されたのを機に、認定証とプログラムのメダルのデザインを一新した。メダルの図案は、人間に火を与え、文明と技術をもたらしたギリシャ神話の巨人プロメテウスをイメージしてデザインされた。(黒津高行記)

カレッジマイスター 19名誕生



メダルの原画(デッサン・江刺家隆氏)工務教育から連想される道具と手の表現を意識して、トーチをもつ姿がデザインされている。

本年度のカレッジマイスター称号認定者は、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」採択時における7つの工務のうち、型技術工務(長坂保美助教)2名、エンジン工務(小倉勝教授)7名、2×4木造建築工務(波多野純教授)10名の計19名である。

エンジン工務 高瀬直史、小島昌彦、菊池 健、武井孝修、後藤寛明、樋口裕亮、小倉正崇

2×4木造建築工務 坂本明子、今倉智美、久保憲男、櫻井広美、笹川敦史、島尾香来、邑石晋平、頼 世峰、牧野 久、田中雅子

型技術工務(長坂保美助教)2名、エンジン工務(小倉勝教授)7名、2×4木造建築工務(波多野純教授)10名の計19名である。

小生の長い教員生活において、幾度か耳にした言葉やピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

諸君の健闘を祈念します。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

うことは、珍しくありません。専門家というのはある意味で臆病な存在ということが出来るかも知れません。しかし、幸か不幸か、社会に出れば、解決すべき課題は、都合よくその人の専門に合わせてやって来てくれるわけではなく、「とにかく期日までに何とかして解決しなくてはならない」として現われるのです。そうしたとき、果敢にタックルをしてこそ、そのエンジニアにとって、ピンチは大きなチャンスになるといえるのではないのでしょうか。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

おそらく、確率でいえば、AさんにもBくんにも、チャンスやピンチが訪れる頻度は、そう変わらないでしょう。違いはただ、見送るかタックルするかです。自分の専門を狭めてとらえることなく、日本工業大学で身につけた洞察力や感性に自信を持って、果敢にぶつかっていただきたいと思えます。

専門職大学院だより 印象深い一期生との出会い

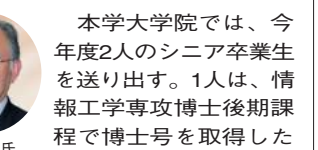
大学院技術経営研究科 村川 正夫 研究科長

還暦を過ぎたら大学院へ行こう

本学大学院では、今年度2人のシニア卒業生を送り出す。1人は、情報工学専攻博士後期課程で博士号を取得した山田千彦氏。もう1人は、専門職大学院・中小企業技術経営コースを修了予定の林一雄氏。お二人とも60代半ばである。山田氏は、定年退職後、磯野研究室に所属。在職中の研究に新たな知見を加え、今迄のキャリアを大成した博士論文をまとめあげた。林氏は、現職でありながら、夜間・土曜に専門職大学院に通学。今後は、その成果を国内企業や発展途上国での技術指導に活かしたいと意欲を語る。お二人の今後の活躍に期待したい。



山田千彦氏



林一雄氏

平成十七年度 卒業生一覽 3月20日付 確定者

機械工学科

Table listing graduates in the Mechanical Engineering Department, including names like 會澤 謙利, 青木 剛, 青木 琢麻, and their respective departments and affiliations.

Table listing graduates in the Electrical and Electronic Engineering Department, including names like 猪股 純一, 稻毛 寛幸, 糸山 隆元, and their respective departments and affiliations.

Table listing graduates in the Building Department, including names like 大川 泰史, 遠藤 孝洋, 浦須内 将, and their respective departments and affiliations.

Table listing graduates in the Building Department (continued), including names like 大川 泰史, 遠藤 孝洋, 浦須内 将, and their respective departments and affiliations.

システム工学科

三上 蒼洋	(弘前工業)	山内 岳春	(春日部工業)
水口 陽介	(掛川工業)	山崎 恭平	(山形電波工業)
宮川 智史	(高田工業)	山崎 拓矢	(新潟工業)
宮城 洋介	(東和大学附属)	山下 剛広	(春日部工業)
宮田 潤	(尚志館)	山科 良太	(墨田工業)
村井 圭三	(日本大学)	横田 真治	(日本大学)
森 敏洋	(熊谷工業)	吉岡 成美	(境港工業)
森 雅人	(神奈川工業)	吉沢 克心	(宇都宮北)
森田 剛	(日本大学)	吉田 祐子	(相馬女子)
森田 悠希	(日本大学)	吉村 葵	(大宮工業)
森田 欣治	(関東第一)	齋藤 央昇	(静岡工業)
森松 晃	(日本大学)	渡辺 篤	(Royal Oak College)
守屋 孟	(春日部工業)	渡辺 道洋	(宇都宮工業)
矢野 孝之	(真岡工業)	渡部 裕太	(新庄工業)
		渡部 雅	(星学舎)

青木 孝治	(日本大学)	一瀬 方彦	(静岡工業)
青谷 光剛	(日本大学)	伊藤 昭仁	(星学舎)
青柳 利裕	(下館工業)	伊藤 晃	(川口北)
秋田谷 一樹	(五所川原工業)	伊藤 紳一郎	(日本大学)
穴澤 将男	(福島工業)	稲葉 成昭	(日本大学)
阿部 辰徳	(仙台工業)	猪野 崇	(下館工業)
新井 一成	(足利工業)	井原 正人	(越谷東)
新井 雄樹	(行田工業)	岩淵 琢磨	(一関商工)
新井 亮	(下館工業)	岩間 寛	(星学舎)
飯島 良典	(行田工業)	梅澤 翔	(柏崎工業)
石井 雅弘	(足利工業)	枝 貴行	(下館工業)
石坂 祐樹	(蓮田)	王 莉	(杭州大関中学校)
石岡 英司	(日本大学)	翁 林玲	(松漢第一高等学校)
石田 秀明	(熊谷工業)	大塚 義文	(日本大学)
石橋 秀紀	(日本大学)	大塚 俊幸	(大宮東)
磯谷 博朗	(日本大学)	大槻 忠輔	(飯山照丘)
板垣 健二	(日本大学)	大森 義和	(星学舎)
伊丹 貴則	(幸手)	小笠原 明徳	(十和田工業)
市川 和樹	(平工業)	奥山 大輔	(十和田工業)

小林教授、廣瀬教授に

功労賞授与



小林教授

別会の席で執り行われる。小林勉教授は昭和11年9月生まれ。昭和34年日本体育大学卒業後、高校教諭を経て、昭和43年本学に就任。「健康管理論」等を担当、熱心に学生の教育にあたった。学生部長、保健体育センター長などを歴任、さらには評議員として、本学園の管理運営にも参画した。

廣瀬治男教授は、昭和12年9月生まれ。昭和36年慶応義塾大学卒業、同大学院工学研究科博士課程を経て、

情報工学科

赤羽 史彦	(松本工業)	荒木 泰平	(浦和工業)
秋村 健二	(栃木工業)	飯田 知己	(熊谷工業)
阿久津 行宏	(宇都宮白楊)	池田 貴志	(日本大学)
浅石 和宏	(館林)	石貝 剛	(日立工業)
阿部 晋介	(青森工業)	石塚 寿彦	(宇都宮白楊)
阿部 春洋	(平工業)	市原 寛之	(日本大学)
新井 翔平	(宇都宮白楊)	伊藤 康彦	(前橋(市立))

昭和43年4月本学に就任。「電子回路」等を担当し、学生の教育指導にあたる他、教務部長として、本学の教育改革に取り組んだ。また理事・評議員として、学園全体の経営にも参画、足跡を残した。

両教授とも、本学設立直前の時期に就任し、施設設備などが整わぬ中、熱意をもって教育指導にあたり、また、学生部長、教務部長として本学の管理運営にも携わり、今日の本学の隆盛の礎を築いたことは衆目の一致するところである。今後とも両教授のより一層の活躍を祈念してやまない。

西村 直純	(秋田工業)	渡辺 雅幸	(蔵前工業)
成瀬 浩也	(足利工業)	米満 慎悟	(志木)
永山 大蔵	(青森工業)	吉野 春樹	(下館工業)
中村 大介	(北海道尚志学園)	横田 直也	(春日部工業)
中島 龍一	(足利工業)	横田 将	(平工業)
中嶋 完爾	(星学舎)	北川 好晃	(飯田工業)
長塩 直文	(宮代)	北川 純	(春日部工業)
内藤 聖浩	(掛川工業)	菊池 紀夫	(清陵情報)
友安 聖浩	(白河実業)	木内 勝博	(東総工業)
殿岡 伸泰	(足利工業)	川原 淳	(勿来工業)
都筑 薫	(岩村田)	森川 佳彦	(津津工業)
塚越 徹	(下館工業)	本橋 隆夫	(日本大学)
塚越 良太	(館林商工)	村上 好雄	(真岡工業)
趙 燭	(墨江高等学校)	宗方 慎也	(大宮工業)
CHAMUKIMURA K.K.	(越谷総合技術)	松本 真吾	(一関工業)
(GENYON GERMAN TECHNICAL)	(墨江高等学校)	三木 雄生	(日本大学)
築比地 良太	(館林商工)	松木 孝充	(長井工業)
竹内 健治	(三松実業)	町田 建次	(児玉白楊)
竹田 健治	(直江津工業)	松木 孝充	(長井工業)
竹原 慎一	(星学舎)	松沢 宣隆	(大宮工業)
田中 克昇	(星学舎)	松本 真吾	(一関工業)
筑間 良久	(越谷総合技術)	松本 真吾	(一関工業)
CHAMUKIMURA K.K.	(越谷総合技術)	堀井 育義	(足利工業)
高橋 真之	(星学舎)	本多 慎也	(宇都宮工業)
高橋 真之	(星学舎)	本多 慎也	(宇都宮工業)
高橋 真之	(星学舎)	本多 慎也	(宇都宮工業)
高橋 真之	(星学舎)	本多 慎也	(宇都宮工業)
高橋 真之	(星学舎)	本多 慎也	(宇都宮工業)

●博士前期課程

●博士後期課程

●専任職学位課程

●技術経営専攻

●情報工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●機械工学専攻

●建築工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

●博士前期課程

●博士後期課程

●専任職学位課程

●技術経営専攻

●情報工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●機械工学専攻

●建築工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

●博士前期課程

●博士後期課程

●専任職学位課程

●技術経営専攻

●情報工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●機械工学専攻

●建築工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

●博士前期課程

●博士後期課程

●専任職学位課程

●技術経営専攻

●情報工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●機械工学専攻

●建築工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

●博士前期課程

●博士後期課程

●専任職学位課程

●技術経営専攻

●情報工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●機械工学専攻

●建築工学専攻

●環境工学専攻

●応用工学専攻

●国際工学専攻

●社会工学専攻

●文化工学専攻

●芸術工学専攻

●スポーツ工学専攻

●健康工学専攻

●福祉工学専攻

●防災工学専攻

●宇宙工学専攻

●海洋工学専攻

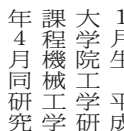
博士号取得 おめでとうございます

課程博士



佐々木 富幸
◆機械工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】三次元力場方式連続吸排気可変動弁機構による直噴ディーゼル機関の性能改善【経歴】昭和54年1月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・小倉 勝）。



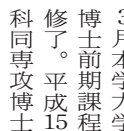
Ratchane Patsam
◆機械工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】マクロ口鋳造法によるマイクロ部品量産技術に関する研究【経歴】昭和33年2月生。昭和51年3月藤沢市立藤沢工業高等学校卒業。平成13年4月本学大学院工学研究科博士後期課程機械工学専攻入学（指導教授・村川正夫）。



高橋 真治
◆電気工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】真空遮断器の高電圧遮断現象に関する研究【経歴】昭和50年11月生。平成12年3月本学大学院工学研究科博士前期課程電気工学専攻修了。平成13年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学。平成16年3月同研究科同専攻同課程単位取得満期退学。平成17年4月同研究科同専攻同課程再入学（指導教授・森宮 脩）。



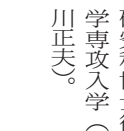
王 熾
◆システム工学専攻博士後期課程3年

【論文題目】原子間力顕微鏡による磁気ディスク用硬質薄膜および潤滑油のナノメータスケールのトライボロジー特性評価【経歴】1964年8月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。



後藤 勇
◆機械工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】新形状刃形C B Nホルエンドミルの開発に関する研究【経歴】昭和22年9月生。昭和40年3月東京工業高等学校卒業。平成14年4月本学大学院工学研究科博士後期課程機械工学専攻入学（指導教授・村川正夫）。



安部 新一
◆機械工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】管内走行マイクロロボットの試作とその力学解析に関する基礎研究【経歴】昭和55年2月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。

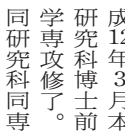
【論文題目】真空遮断器の高電圧遮断現象に関する研究【経歴】昭和50年11月生。平成12年3月本学大学院工学研究科博士前期課程電気工学専攻修了。平成13年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学。平成16年3月同研究科同専攻同課程単位取得満期退学。平成17年4月同研究科同専攻同課程再入学（指導教授・森宮 脩）。

【論文題目】管内走行マイクロロボットの試作とその力学解析に関する基礎研究【経歴】昭和55年2月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。



野城 淳一
◆システム工学専攻博士後期課程3年

【論文題目】ナノオクターの微細材料構造を制御した機能性固体潤滑膜の研究【経歴】昭和53年11月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・渡部修一）。



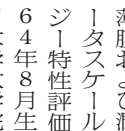
山田 千彦
◆情報工学専攻
攻博士後期課程3年

【論文題目】レンチキュラ方式3次元画像ディスプレイの設計技術に関する研究【経歴】昭和15年9月生。昭和39年3月東海大学工学部電子工学科卒業。平成15年4月本学大学院工学研究科博士後期課程情報工学専攻入学（指導教授・磯野春雄）。



大野 学
◆システム工学専攻博士後期課程2年

【論文題目】管内走行マイクロロボットの試作とその力学解析に関する基礎研究【経歴】昭和55年2月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。



早修了者
大野 学
◆システム工学専攻博士後期課程2年

【論文題目】管内走行マイクロロボットの試作とその力学解析に関する基礎研究【経歴】昭和55年2月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。



Shinya Anbe
◆システム工学専攻博士後期課程3年

【論文題目】管内走行マイクロロボットの試作とその力学解析に関する基礎研究【経歴】昭和55年2月生。平成15年3月本学大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻修了。同年4月同研究科同専攻攻博士後期課程入学（指導教授・三宅正二郎）。

同研究科同専攻攻博士後期課程入学。平成16年3月同研究科同専攻同課程退学。平成17年4月同研究科同専攻同課程再入学（指導教授・加藤重雄）。

論文博士

長尾 俊昌
【論文題目】パイルド・ラフト基礎の水

昭和34年4月生。昭和60年3月東京工業大学大学院総合理工学研究科建築学専攻修了。同年4月大成建設株式会社入社。現在、大成建設技術センター在籍。（指導教授・桑原文志）

山口君が埼玉の木の家・設計コンペで優秀賞

建築学科伊藤 藤庸一研究室に研究生として所属する山口君の受賞作「Sai

口高志君（館林商工高校出身）が、埼玉の木の家・設計コンペ・学生の部で優秀賞を受賞した。本コンペの目的は、県産木材住宅に取り組み若手建築設計者等の育成と、県産木材の魅力や利用の意義をPRし、利用拡大を図るといったもの。

山口君の受賞作「Sai」は、このコンペ「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

天満宮例祭

今年のは、梅の開花も早く、満開の梅の香りさわやかに句う境内で、窪田崇敬副会長以下、大川理事長、柳澤学長、榊原宮代町長等が参列。学生諸君のより一層の学業向上と繁栄を祈念し、本年度例祭も無事終了した。

平成18年度日本工業大学天満宮例祭が、3月4日（土）午前11時から社前において厳粛に挙行された。

今年のは、梅の開花も早く、満開の梅の香りさわやかに句う境内で、窪田崇敬副会長以下、大川理事長、柳澤学長、榊原宮代町長等が参列。学生諸君のより一層の学業向上と繁栄を祈念し、本年度例祭も無事終了した。

濱野君が 新進賞受賞

機械工学科
研究室に所属する濱野正太君

（東京工業高校出身）が、1月13日に開催された日本非破壊検査協会応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウムで新進賞を受賞した。本賞は優秀な講演をした30歳以下の若手発表者に与えられるもので、講演論文題目は「電子スベックル干渉法による歯科矯正治療的検討―各臼歯の水平移動

磯野研究室が 「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ

情報工学科磯野春雄教授「いる人にとっては、もっとスピードを早くしたいという希望もある。

同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

Hand in Hand -手を携えて、協力して

大澤 洋君 西田 圭佑君
電気電子工学科4年 機械工学科3年
（埼玉立行田工業（現行） 田進修館）高等学校出身
（日本航空高等学校出身）

9年前、聴覚障害を持った女子学生が情報工学科に入学してきた。そして、彼女が3年生の時に仲間と自主サークル「Hand in Hand」を発足。この自主サークルは、「手話サークルHand in Hand」となり、現在もその活動が続いている。

電気電子工学科4年の大澤洋君は一昨年のサークル代表者、機械工学科3年の西田圭佑君は昨年までこのサークルの代表者として活動していた。大澤君は、聴覚に障害を持っていて、彼以外のサークルメンバーは健常者だ。西田君は、「大澤君が

いたからこそ障害者の立場にたって物事を考える気持ちがあった」と今までの活動を振り返る。彼らのサークル活動の場は多い。昨年9月17日、第1回日本工業大学卒業生の就職教員の集いが都

く得ることが出来ない人、音による情報を手話や文字に置き換えて目で見えてわかるようにすることという。方法としては、健常者同士が笑っていても聴覚障害者は何故笑っているのかわからない。そうした不安を取り除いて、聴覚障害者も一緒に笑える空間を作りたいと西田君は言う。他大学では、健常者に対しサークル中の口話禁止、または耳栓を義務づけて活動しているところもある。

サークル名にもなっている「Hand in Hand」には「手を携えて、協力して」という意味がある。障害者に手を携えることは、頭ではわかっているが難しい。大学をはじめ世の中が、あらゆる障害者にとって生活しやすい、やさしい環境になつてくれる事を願ってやまない。

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

編集後記

▼昨年後半、増えてきたと感じるのが、「株」に関するニュースである。年明け、ライブドアアショクが東証市場を襲った。たった一つの会社の不正が株式市場全体を暴落させてしまうことに、疑問を抱かずにはいられない。誤発注で400億円の損失を出した大手証券会社や、株式投資だけで27億円を稼ぎ出した男性も話題になった。

▼汗水流さず、クリック一つで簡単に大金が入ること（無論その逆もあるが）を覚えた者たちの人生における価値とは、一体何だろうか。「お金」と即答されれば二の句は続かないが・・・「マネーゲーム」の果てに残るものは？

▼卒業の饗には相応しくない話題になってしまったが、本学の卒業生諸君には「ものづくり」を通して、働くことの意義を見出し、生き生き喜びを感じてもらいたいと切に願っている。卒業本当におめでとう。(F)

▼「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

「インターネットによる可変速手話映像の実験サイト」立ち上げ希望もある。同教授は、この点に着目し、インターネットで配信する手話映像のスピードを好むの早さに設定できるシステムを開発した。この実験サイトを視聴した聴覚障害者や健聴者からは、便利で役に立つとの意見が多数寄せられている。なお、同サイトに配信さ

人事異動

【任用】（3月1日付）
◆石井隆弘財務部長補佐（財務部）
【定年退職】（3月31日付）
◆小林勉教授（共通系）
◆鈴木一良教授（共通系）
◆清島達郎教授（共通系）
◆山岸高教授（共通系）
◆金行壯二教授（共通系）
◆横谷真一郎教授（機械工学科）
◆廣瀬治男教授（電気電子工学科）
◆森宮脩教授（電気電子工学科）
◆渡辺康夫教授（電気電子工学科）
◆野口卓也教授（システム工学科）
◆伊原征治郎教授（システム工学科）
◆加藤重雄教授（システム工学科）
◆土屋秀雄教授（システム工学科）

【退職】（3月31日付）
◆宮崎好恵主任（財務部用度・管財課）
◆桑原忠主任（図書館事務課）
◆藤田蓉子事務職員（教務部教務課）

【国外出張】（12月～1月）
◆清水博幸助手（超高压発電研究センター）／出張先：フィンランド（12/7～18）／目的：NEDO委託国家標準級インパルス電圧用校正器の国際比較試験実施

◆椋田實助教授（情報工学科）／出張先：中国（1/4～7）／目的：輸送計画とサプライチェーンマネジメントに関する国際会議における論文発表

【環境配慮の観点から再生紙を使用しております。】